

東海市スポーツ推進計画

スポーツを「しよう!」・「観よう!」・「支えよう(応援しよう)!!」
～ スポーツのチカラで、一体感と活力を!～



令和4年(2022年)3月
東海市・東海市教育委員会



目 次

第1章 計画の策定に当たって

1	計画策定の趣旨	1
2	計画の位置付け	2
3	計画の期間	3
4	本市におけるスポーツの考え方	3

第2章 スポーツの現状と課題

1	国や愛知県の動向	4
2	東海市の現状	5
3	東海市の課題	15

第3章 計画の基本的な考え方

1	計画目標・テーマ	16
2	基本施策	17
3	施策体系	18
4	成果指標	20
5	本計画で目標とするSDGsの達成目標	21

第4章 施策の展開

1	基本施策Ⅰ「スポーツライフの推進」	23
2	基本施策Ⅱ「アスリート活動の推進」	27
3	基本施策Ⅲ「スポーツによる交流の推進」	30
4	基本施策Ⅳ「スポーツに親しむ場の整備」	32
5	重点プロジェクト	36
6	推進スケジュール	39

第5章 計画の実現に向けて

1	各種団体に期待する役割	42
2	計画の進行管理及び推進体制	43

参考資料

1	東海市ふるさと大使（スポーツ関係）	44
2	オリンピック出場者	44
3	主な公共スポーツ施設一覧	45
4	成果指標の算出方法	47
5	策定委員会	48

第1章 計画の策定に当たって

1 計画策定の趣旨

本市では、平成22年(2010年)3月に制定した都市宣言の一つである「生きがいがあり健康なまち東海市」を目指し、各種団体と連携のもとスポーツ活動に取り組んでいます。

旧東海市体育協会を母体としている一般社団法人スポーツクラブ東海（以下「スポーツクラブ東海」という。）では、市域全体を活動区域に、市民の競技スポーツや健康増進の取組を進めています。東海市スポーツ推進委員会（以下「スポーツ推進委員会」という。）では、気軽に参加できるスポーツ活動に積極的に取り組むことで、スポーツ人口の裾野を広げる活動を展開しています。

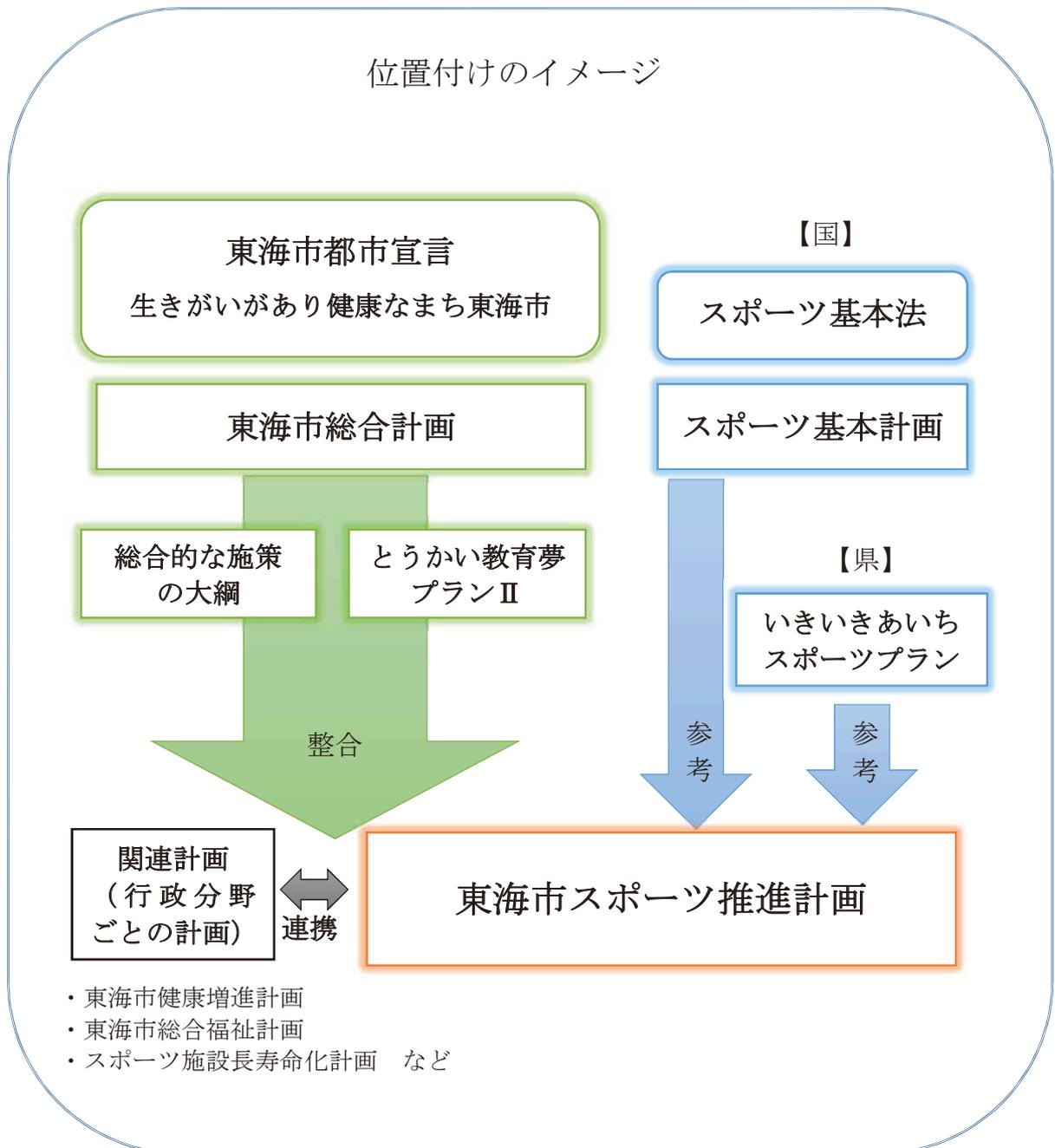
また、コミュニティでは、運動会の開催、企業スポーツチームでは、スポーツ教室を開催するなど、各種団体が様々なスポーツ事業に取り組んでいます。

今回策定する東海市スポーツ推進計画（以下「本計画」という。）は、本市が初めて策定するスポーツ基本法（平成23年法律第78号）第10条の規定に基づく「地方の実情に即したスポーツ推進に関する計画」であり、本市のスポーツに関する課題や施策を体系立てて整理し、事業を効果的に進めていくためのスポーツ振興の指針となるものです。

しかしながら、スポーツ振興は、行政だけでは実現することはできません。本市のまちづくりの理念である協働と共創による、市民、行政、各種団体等との連携を「ワン フォー オール オール フォー ワン（一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために）」の精神で、関係者が一丸となって本計画を推進していくことにより、市民のスポーツライフの充実と健康で豊かな生活の実現を目指します。

2 計画の位置付け

国や愛知県の計画を参考に、東海市都市宣言の一つである「生きがいがあり健康なまち東海市」の実現に向け、本市の最上位計画である東海市総合計画を始めとした計画との整合を図るとともに、関連計画との連携を図ります。



3 計画の期間

本計画は、令和4年度(2022年度)から令和10年度(2028年度)までの7年間とします。

なお、令和6年度(2024年度)から始まる第7次東海市総合計画の中間見直し年次に合わせ、第2期計画へ移行していきます。

計画名称\年度	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030
東海市スポーツ推進計画	第1期							第2期	
東海市総合計画	第6次		第7次 ●見直し						
スポーツ基本計画(国)	第3期					第4期			

4 本市におけるスポーツの考え方

「スポーツは、世界共通の人類の文化である。」で始まるスポーツ基本法の前文には、スポーツについて、「国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠のもの」と示されており、また、同法の基本理念には、「国民が生涯にわたりあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的かつ自律的にその適性及び健康状態に応じて行うことができるようにする」と示されています。

この法律の趣旨を受け、本市においては、スポーツを次のように捉えています。

ルールに基づいて行う競技スポーツのみではなく、健康増進や体力向上を目的としたウォーキング、体操及びストレッチ等の日常的な運動、身体を動かすことによるダンス等の表現活動、また、親子や友人と行うボール投げやバドミントン等の遊びもスポーツとして捉えます。

第2章 スポーツの現状と課題

1 国や愛知県の動向

(1) 国の動向

平成23年(2011年)に施行されたスポーツ基本法は、昭和36年(1961年)に制定されたスポーツ振興法が50年ぶりに全面改訂されたもので、スポーツを通して幸福で豊かな生活を営むことは、すべての人々の権利であるとし、国や地方公共団体の役割やスポーツの基本的施策が示されています。

同法に基づき、平成24年(2012年)には、スポーツ基本計画、平成29年(2017年)には、第2期スポーツ基本計画が策定され、「する」「みる」「ささえる」といった様々な形ですべての人々が参画する「一億総スポーツ社会」の実現に向けた取組が進められています。

令和4年(2022年)に策定が予定されている第3期スポーツ基本計画に向け、第2期の取組結果として、「スポーツ実施率は上昇したが、目標に向けた進捗としては十分と言えない状況である」こと、また、「少子化が進展するなかで、運動部活動の改革、地域における青少年のスポーツ環境の整備が急務である」こと等の課題が指摘されています。

(2) 愛知県の動向

平成25年(2013年)に人々を取り巻く社会環境の急激な変化による精神的なストレスの増大や運動不足による生活習慣病の増加等を背景に、スポーツ推進計画「いきいきあいち スポーツプラン～豊かなスポーツライフの創造～」が策定されました。

同計画では、県民一人ひとりがそれぞれのライフステージや興味・関心等に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみ、活力のある「スポーツ愛知」を実現するための基本的な方向性が示されています。

また、県及び名古屋市では、令和8年(2026年)に第20回アジア競技大会の開催に向けた取組が進められています。

2 東海市の現状

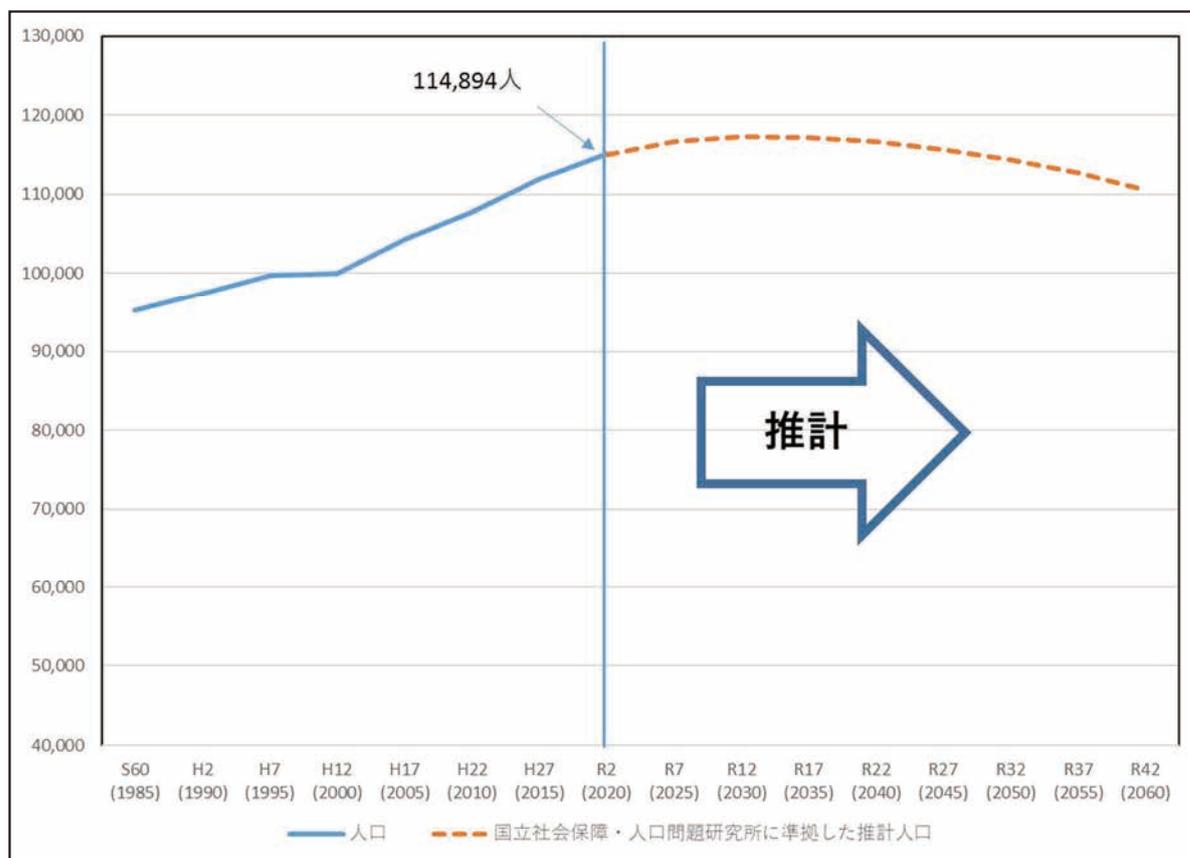
(1) まちの特徴

本市は、知多半島の西北端に位置し、西は伊勢湾、北は名古屋市に隣接しており、交通等の面からも知多半島の玄関口として機能しています。

また、名古屋市中心部から公共交通機関で20分程度、南に位置する中部国際空港からも20分程度と交通アクセスの良い太田川駅の周辺が本市の玄関口として整備され、にぎわいの創出につながっています。

人口推移としては、全国的に人口減少が進んでいくなか、本市においては、令和2年(2020年)までは安定的に人口増加していますが、国立社会保障・人口問題研究所に準拠した推計では、令和12年(2030年)以降、減少に転じることが見込まれています。

また、本市には、都市公園が多く整備されており、令和元年度(2019年度)末の一人当たりの都市公園面積は、約10.93㎡/人で、県平均の約7.84㎡/人や全国平均の約10.69㎡/人と比べて高い水準にあります。



出典：第2期東海市総合戦略

(2) スポーツにおける特徴

ア スポーツ推進委員会

12の小学校区から2名ずつの委員が選出されており、地域のスポーツ振興を担うとともに、ニュースポーツやイベント等の活動を通してスポーツ振興のコーディネーターとしての役割を担っています。

イ スポーツクラブ東海

全国的にも珍しい体育協会の機能を継承した総合型地域スポーツクラブであり、各種市民大会やスクールを開催し、スポーツ振興や市民の体力づくり、健康増進を担っています。

ウ ふるさと大使（スポーツ関係）

山崎武司さん（元プロ野球選手）、ドラゴン・キッドさん（プロレスラー）及び近藤共弘さん（プロゴルファー）らを始め、日本製鉄東海REX（硬式野球）、大同特殊鋼ハンドボール部フェニックス及び愛知製鋼陸上競技部といった全国で活躍されている本市にゆかりのある方々に本市の魅力を情報発信してもらい、イメージアップを図っていただいています。

エ 企業スポーツチーム

ふるさと大使でもある日本製鉄東海REX（硬式野球）、大同特殊鋼ハンドボール部フェニックス及び愛知製鋼陸上競技部、また、本市に関係する東レアローズ等の地元企業チームとの連携により、子どもたちへの技術指導やチームの応援を通して、多くの市民がスポーツに関わっています。

オ ハーフマラソン大会

令和元年度(2019年度)の市制50周年を契機に、本市の新たなスポーツ振興・健康づくりの象徴的なイベントとなることを目指し、34回続いた東海シティマラソンをハーフマラソンに切り替え、市民参加に加えて県内外からの参加者によるスポーツ交流を促進しています。

カ 姉妹都市スポーツ交流

釜石市で行われたラグビーワールドカップへの市民応援団の派遣や、スポーツ団体の相互派遣を行い、スポーツを通じた交流を実施しています。

キ オリンピック出場者

東京2020大会男子50km競歩、男子20km競歩にそれぞれ愛知製鋼陸上競技部の丸尾知司選手、山西利和選手が出場し、山西選手は、東海市初となる銅メダルに輝きました。

また、北京2022大会フェギュアスケートペアにふるさと大使である木原龍一選手が出場し、団体戦初の銅メダル獲得に大きく貢献するとともに、個人戦においても、日本勢初となる7位入賞を果たしました。

ク 健康応援ステーション事業

健康診断の結果から個人に合った運動の強さやウォーキングペース等の分かる運動応援メニューを提供するとともに、メニューと連動して運動に取り組みやすい環境を整備し、市民の体力づくりや健康増進を図っています。

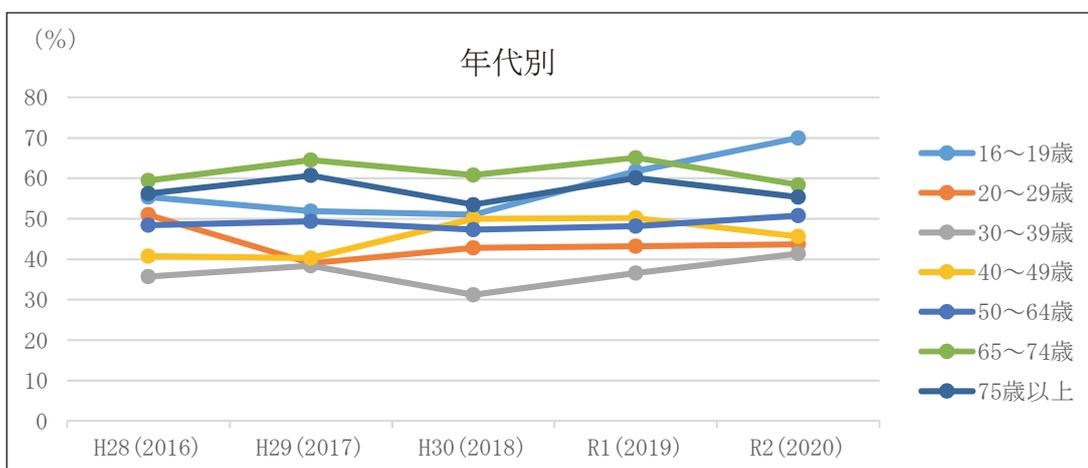
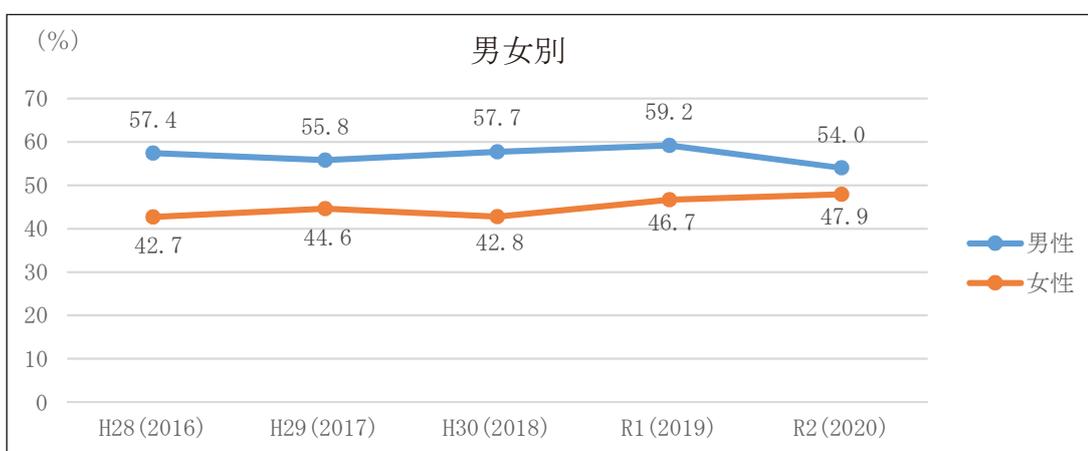
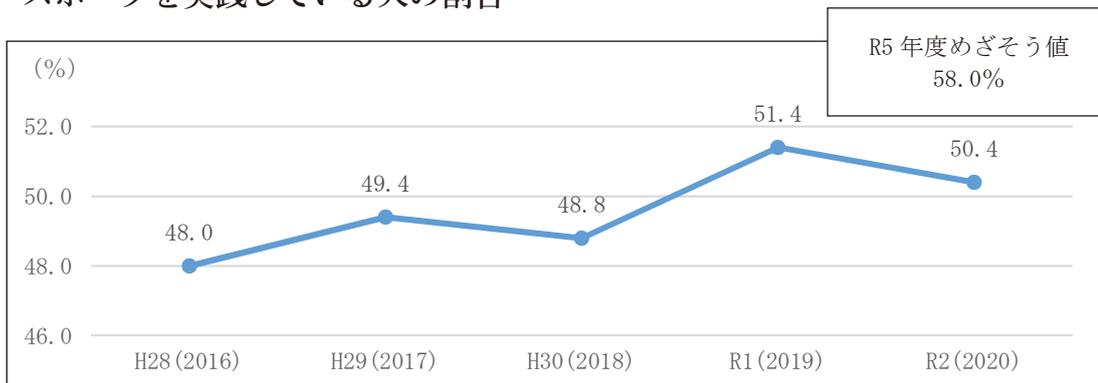
ケ スポーツ施設

夜間照明施設を備えた人工芝コートのある元浜サッカー場や、知多管内で唯一の50mコースを有する温水プール、人工芝コート10面を有する加木屋テニスコートがあり、市内外の多くの大会に利用されています。



(3) スポーツにおける現状

ア スポーツを実践している人の割合

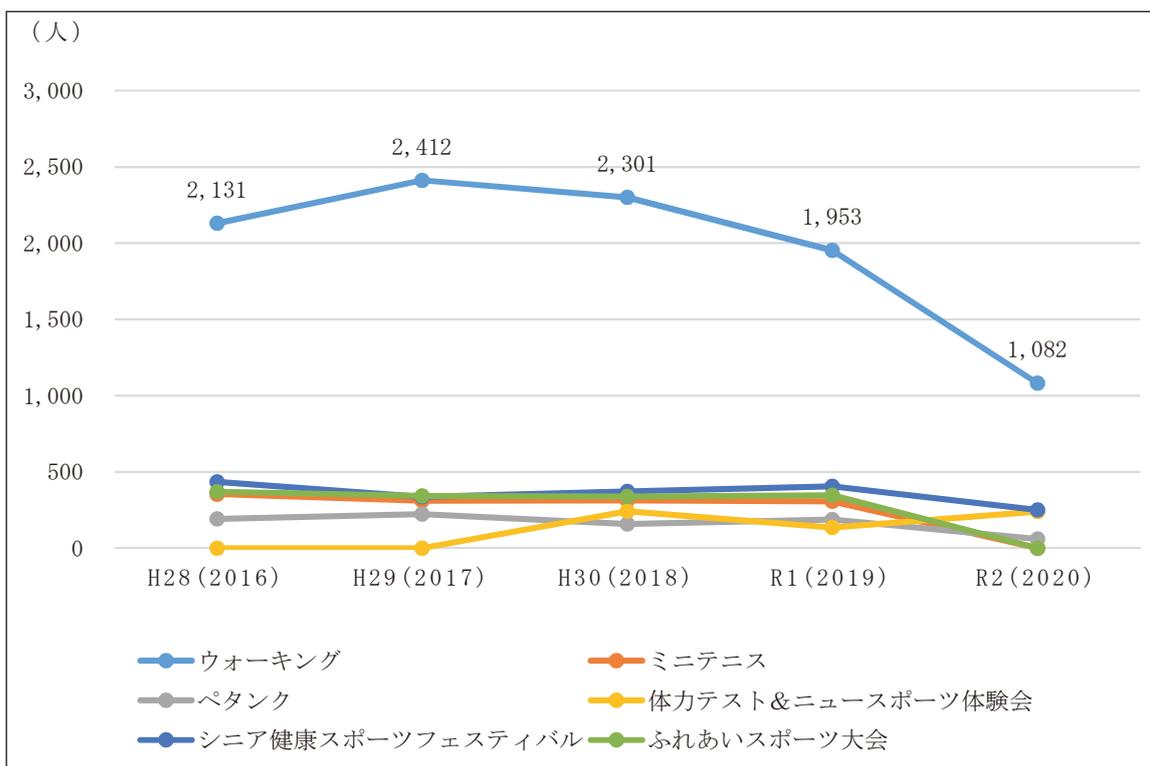


出典：第6次総合計画「市民生活の現状について」のアンケート

ウォーキング等の軽運動を含めたスポーツの実践状況を調査した結果です。数値は、過去5年間横ばい状態が続いており、令和5年度(2023年度)めざそう値の58.0%には、ほど遠い状況です。

令和2年度(2020年度)の男女別では、男性54.0%に対し、女性47.9%と差があります。また、年齢別では、20~49歳が40%台と低くなっています。

イ 各種スポーツ事業参加者数



<内訳：参加者数>

(人)

種目	年度	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)
ウォーキング (市みんなでウォーキング)		13 イベント 2,131	14 イベント 2,412	13 イベント 2,301	13 イベント 1,953	6 イベント 1,082
ミニテニス (市P連ミニテニス大会、市民ミニテニス大会)		354	311	314	308	0
ペタンク (市民ペタンク大会、ナイターペタンク大会)		193	223	158	188	60
体力テスト&ニュースポーツ体験会		—	—	242	135	240
シニア健康スポーツフェスティバル (いきいき元気フェスティバル、健康フェスティバル)		785	684	657	671	250
ふれあいスポーツ大会 (障がい者スポーツ大会)		371	343	338	346	0

各種スポーツ事業への参加者数の推移を表したものです。

令和元年度(2019年度)までは、横ばい状態が続いています。

令和2年度(2020年度)は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、多くの種目で参加者数が減少しています。

ウ 各地区でのスポーツ事業

(令和元年度(2019年度))

地区	コミュニティ		公民館・市民館	事業数
	運動会	その他		
緑陽	いきいき緑陽スポーツ広場	緑陽コミュニティ親子スポーツ大会 (ベタンク)	ゴムバンド運動教室	3
名和	ふれあいスポーツ	名和コミュニティスポーツ大会 (カローリング、ベタンク)	夏休みラジオ体操(上名和) 卓球大会(上名和) 健康エンジョイ講座(下名和) ベタンク体験教室(下名和)	6
渡内		コミュニティウォーキング 夏休みラジオ体操	ゴムバンド運動教室	3
平洲	スポーツフェスティバル平洲	平洲ウォーキング	親子フラダンス教室(平洲) ゴムバンド体操(平洲、加家) 体力測定会(平洲) グラウンドゴルフ大会(清水) 歩け歩け大会(清水) ボウリング大会(清水)	9
明倫	明倫ふれあい合同運動会	ベタンク大会 グラウンドゴルフ大会 ボウリング大会	いきいき百歳体操 体力測定会 スポーツ交流会	7
富木島	富木島ふれあいコミュニティ運動会	わんぱく相撲	スポーツフレンドパーク スポーツ交流会	4
船島	船島コミュニティ合同運動会	船島ふれあい広場スポーツ体験会 (グラウンドゴルフ、ベタンクなど) スポーツ大会	ゴムバンド運動教室	4
大田	大田コミュニティ・大田小学校合同運動会	大田スポーツ大会 (ベタボード、囲碁ボール)	ラジオ体操 りらくすヨガ 健康体操 新春卓球教室	6
横須賀	横須賀コミュニティ運動会	横須賀コミュニティスポーツ大会 (囲碁ボール)	男性ストレッチ(横須賀) 健康体操(横須賀) 卓球教室(養父) 太極拳教室(養父) 新舞踊教室(養父) キッズダンス(養父) ゴムバンド教室(養父)	9
加木屋	加木屋コミュニティ運動会		ゴムバンド教室 スポーツ吹き矢体験教室 3B体操体験講座	4
三ツ池	三ツ池小学校・コミュニティ合同運動会	いきいき健康教室(ウォーキング) 健康ふれあいの集い (ボウリング、ダンス)	キッズダンス教室 ベタンク大会 ゴムバンド教室 健康教室	7
加木屋南	加木屋南コミュニティ運動会	ウォークラリー スポーツイベント(ボウリング) ふれあいグラウンドゴルフ大会	バランスボール教室 健康測定会	6
計				68

※ 毎週行われる体操等については、1事業として掲載

出典：コミュニティ…令和2年度(2020年度)総会資料(令和元年度(2019年度)事業報告書)
公民館・市民館…令和元年度(2019年度)公民館等活動運営事業実績報告書

コミュニティや公民館・市民館が実施している事業のうち、1年を通じて行われているスポーツ事業を表したものです。

最も多い地区の9事業に対し、最も少ない地区は3事業であり、平均では5.6事業となっています。

エ 小学校課外活動（部活動）・中学校運動部活動の状況

（令和3年度(2021年度)）

【小学校】全12校

種目数	学校数
2種目	4校
3種目	1校
4種目	6校
5種目	1校

【中学校】全6校

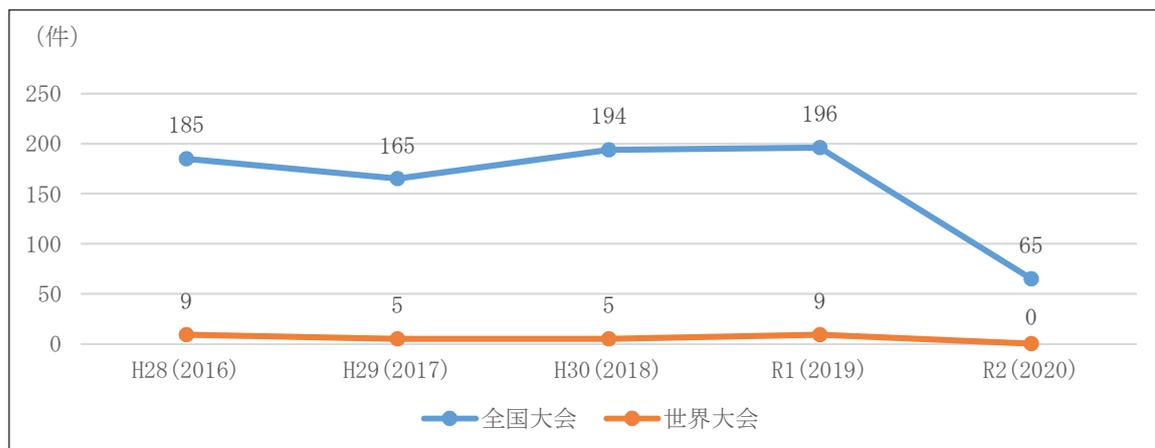
種目数	学校数
7種目	1校
8種目	1校
9種目	1校
10種目	2校
11種目	1校

小中学校の課外活動・部活動のうち、運動種目数を表したものです。

小学校においては、児童数の減少から、運動種目が2種目の学校があります。中学校においても、部活動以外のスポーツチームに加入する生徒が増えており、学校によって種目数が異なっています。

また、小学校の課外活動は、令和3年度(2021年度)末で廃止となります。

オ 全国大会等出場件数



本市に在住・在勤・在学している人の全国及び世界大会へ出場した件数です。

令和2年度(2020年度)は、新型コロナウイルス感染症の影響により大会が中止となり、大きく減少していますが、それまでは微増傾向にあります。

また、近年では、東京2020大会に愛知製鋼陸上競技部の選手2名が競歩で出場したことを始め、北京2022大会へのフィギュアスケート選手の出場、世界大会へのアダプティブサーフィン（障がい者サーフィン）選手の出場、アジア大会へのBMX選手の出場など、本市にゆかりのある選手が世界で活躍しています。

カ 自分の夢や目標の内容【複数回答】

(令和2年度(2020年度))

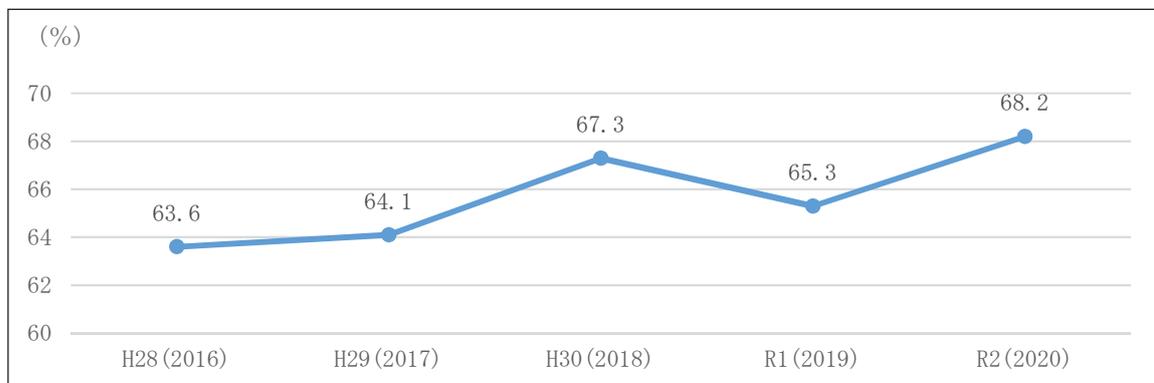
全 体	将来なりたい職業がある	好きな勉強にもっと取り組みたい	好きなスポーツがあり、もっとうまくなりたい	好きな絵や音楽などがあり、もっとうまくなりたい	色々な世界のことを知りたい
1,761	1,038	250	606	377	187
100.0%	58.9%	14.2%	34.4%	21.4%	10.6%
もっと英語が話せるようになりたい	人に親切にしたい	両親や祖父母を幸せにしたい	平和な世界にするために役に立ちたい	その他	無回答
376	461	506	195	165	3
21.4%	26.2%	28.7%	11.1%	9.4%	0.2%

出典：第6次総合計画「市民生活の現状について」のアンケート

「自分の夢や目標がある」と回答した児童生徒に対し、その夢や目標の内容を調査した結果です。

「将来なりたい職業がある」の割合が58.9%と最も高くなっており、次いで「好きなスポーツがあり、もっとうまくなりたい」の割合が34.4%となっています。

キ スポーツをしやすい環境が整っていると思う人の割合

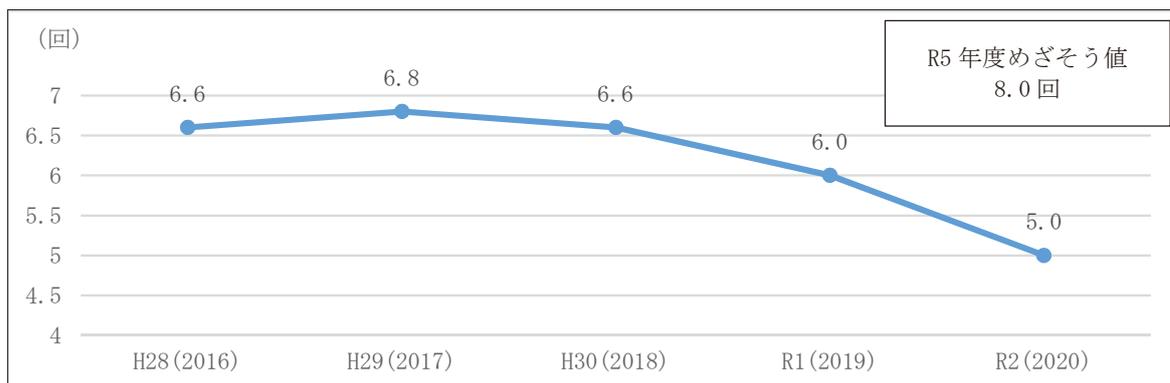


出典：第6次総合計画「市民生活の現状について」のアンケート

「スポーツをしやすい環境が整っているか」という設問に対して、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合です。

令和2年度(2020年度)は、前年度と比べて2.9ポイント上回っていますが、横ばい状態が続いています。

ク 市民一人当たりのスポーツ施設の利用回数



<内訳：利用人数>

(人)

施設名	年度	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)
市民体育館		195,167	197,457	194,513	151,563	88,211
学校プール開放 ※令和2年度末に事業廃止		8,740	6,717	3,915	4,808	0
温水プール		97,168	92,423	93,883	83,713	62,577
元浜スポーツ広場		19,511	18,940	17,717	14,394	59,605
加木屋運動公園		106,771	106,404	103,545	97,596	77,962
新宝緑地運動公園 ※令和2年度末に施設廃止		31,601	30,505	30,304	29,583	29,190
学校体育施設		204,997	227,370	215,238	211,840	184,508
大池公園 (野球場、テニスコート)		24,129	25,398	26,619	25,969	25,938
平地公園 (野球場、テニスコート)		20,172	18,424	19,123	20,513	19,740
上野台公園 (テニスコート)		14,319	13,962	13,809	13,627	11,670
しあわせ村 (トレーニング室)		23,254	24,637	25,290	22,392	3,223
荒尾スポーツ広場		6,888	8,743	7,977	8,181	8,877
計		752,717	770,980	751,933	684,179	571,481

スポーツ施設を市民一人当たりが年間に何回利用したかを表したものです。

数値は、平成30年度(2018年度)までは、横ばい状態が続いています。

また、令和元年度(2019年度)及び令和2年度(2020年度)は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い減少しており、令和5年度(2023年度)めざそう値の8.0回には、ほど遠い状況です。

内訳の利用人数では、令和2年度(2020年度)からリニューアルした元浜サッカー場を有する元浜スポーツ広場は、前年度と比べて4倍以上に増加しています。

ケ スポーツをしている場所【複数回答】

(令和2年度(2020年度))

全 体	市民 体育館	温水 プール	公園	学校	その他 公共施設	民間 スポーツ施設	歩道	その他	無回答
950	45	40	366	71	147	123	361	133	38
100.0%	4.7%	4.2%	38.5%	7.5%	15.5%	12.9%	38.0%	14.0%	4.0%

出典：第6次総合計画「市民生活の現状について」のアンケート

スポーツを実践している人がどこでスポーツをしているか調査した結果です。

「公園」の割合が38.5%と最も高くなっており、次いで「歩道」の割合が38.0%となっています。

コ 現在しているスポーツ、今後してみたいスポーツ【複数回答】

(令和2年度(2020年度))

	現在しているスポーツ		今後してみたいスポーツ	
全 体	1,886	100.0%	1,886	100.0%
①野球	25	1.3%	26	1.4%
②サッカー、フットサル	21	1.1%	23	1.2%
③バスケットボール	16	0.8%	28	1.5%
④バレーボール	17	0.9%	48	2.5%
⑤卓球	21	1.1%	86	4.6%
⑥テニス、ソフトテニス	38	2.0%	106	5.6%
⑦ゴルフ	87	4.6%	85	4.5%
⑧グラウンド・ゴルフ	17	0.9%	37	2.0%
⑨球技（①から⑧以外の種目）	17	0.9%	12	0.6%
⑩水泳（スイミング）	28	1.5%	167	8.9%
⑪武道（剣道、柔道、空手など）	11	0.6%	44	2.3%
⑫陸上競技	18	1.0%	16	0.8%
⑬ウォーキング、ジョギング	489	25.9%	290	15.4%
⑭スキー、スノーボード	34	1.8%	105	5.6%
⑮その他	182	9.7%	119	6.3%
⑯ない	284	15.1%	381	20.2%
無回答	795	42.2%	685	36.3%

出典：第6次総合計画「市民生活の現状について」のアンケート

現在しているスポーツ、また、今後してみたいスポーツを調査した結果です。

現在しているスポーツについては、「ウォーキング、ジョギング」の割合が25.9%と最も高くなっています。

また、今後してみたいスポーツについては、「ない」の割合が20.2%と最も高く、次いで「ウォーキング、ジョギング」の割合が15.4%となっています。

3 東海市の課題

以上のようなスポーツにおける現状を踏まえ、次の4点を重要な課題として取り上げます。

(1) スポーツ実施率の向上

スポーツを実践している人の割合が全体的に低く、特に女性や働く世代の割合が低い状態であること、また、各種スポーツ事業への参加者数の伸び悩みやスポーツに対する関心の低さが課題となっています。

今後は、女性や働く世代も参加しやすいスポーツイベントの充実や運動習慣のない人も取り組むことができる事業を展開していくことにより、スポーツを実践するきっかけづくりが必要です。

(2) 子どもたちのスポーツ機会の充実

小学校における課外活動（部活動）の廃止や中学校における運動部活動の種目数の縮小など、子どもたちのスポーツ機会の減少が課題となっています。

今後は、スポーツ推進委員会の地域活動やスポーツクラブ東海・大学との連携を進め、地域でのスポーツ活動を充実していくことが必要です。

(3) 競技力の向上

微増傾向にある全国大会等出場件数を更に増加させるため、また、「好きなスポーツがあり、もっとうまくなりたい」という児童生徒のニーズに応えるためには、幼少期から継続してスポーツに取り組める環境づくりが課題となっています。

今後は、スポーツクラブ東海や企業等との連携により、子どもたちの競技スポーツ活動を充実していくことが必要です。

(4) スポーツ施設の充実

スポーツをしやすい環境が整っていると思う人の割合や市民一人当たりのスポーツ施設の利用回数を向上させるため、施設の老朽化への対応など、適切な管理運営に努めるとともに、市民に身近な都市公園等の既存施設の有効活用や市民のスポーツ活動に合わせた施設の在り方についての検討が必要です。

第3章 計画の基本的な考え方

1 計画目標・テーマ

第2章において整理した本市の現状や課題を踏まえ、市民がスポーツに関わるようになるためには、市民一人ひとりがスポーツに興味・関心が持てるように働きかけ、多面的に参加しやすい環境をつくっていく必要があります。

そこで、自ら身体を動かして行う「する」スポーツだけでなく、プロスポーツを始めとした各種競技大会を観戦する「みる」スポーツ、監督・指導者や大会のスタッフ・ボランティア、また、ファンとして関わる「ささえる」スポーツの場面での取組を進めていきます。

スポーツに関わる人を増やし、市民の心身の健康を高めるとともに、スポーツを通して人と人との交流を深め、地域の一体感や活力あるまちづくりにつなげていくことで、東海市都市宣言の「生きがいがあり健康なまち東海市」の実現を目指します。

【計画目標】

スポーツに関わる人を増やし、健康で活力あるまちづくりに貢献する

【テーマ】

スポーツを「しよう!」「観よう!」「支えよう(応援しよう)！」

～ スポーツのチカラで、一体感と活力を! ～



2 基本施策

計画目標「スポーツに関わる人を増やし、健康で活力あるまちづくりに貢献する」の実現に向け、次の4つの基本施策を定めます。

■ 基本施策Ⅰ

スポーツライフの推進

誰もが体力や年齢、障がいの有無等に関わらず、気軽にスポーツに親しむことができるよう、各種スポーツ事業の充実を図るとともに、身近な地域での活動も拡充します。

また、各種スポーツ大会の開催支援やスポーツを支える指導者を増やすなど、市民の生涯にわたるスポーツ活動を推進します。

■ 基本施策Ⅱ

アスリート活動の推進

ふるさと大使である企業スポーツチーム等と連携して、試合観戦やスポーツ教室等の機会を提供し、アスリートの発掘・育成に努めます。

また、全国大会等に出場する選手の激励事業や優秀な成績を収めた選手や団体を表彰するなど、アスリート活動を支援します。

■ 基本施策Ⅲ

スポーツによる交流の推進

ハーフマラソン等の魅力あるスポーツイベントの開催や姉妹都市等とのスポーツ交流を推進し、広域的な交流人口の拡大を目指します。

また、トップチームやアスリートの試合・合宿等を誘致し、スポーツ交流によるまちのにぎわいづくりを推進します。

■ 基本施策Ⅳ

スポーツに親しむ場の整備

利用者が安全に安心してスポーツに親しむことができるよう、施設の長寿命化を図るなど、適切な管理運営に努めます。

また、市民に身近な公園や緑道等を活用し、スポーツ交流拠点機能が果たせるように整備を進めるとともに、スポーツ施設の在り方についても検討します。

3 施策体系

計画目標及び4つの基本施策をもとに単位施策を設定し、取り組んでいく内容を体系的に整理していきます。

計画目標

スポーツに関わる人を増やし、健康で活力あるまちづくりに貢献する

基本施策

運動

I スポーツライフの推進

1 生涯スポーツ活動の充実

2 競技スポーツ活動の充実

競技

II アスリート活動の推進

1 アスリートの発掘・育成

2 アスリートの支援

交流

III スポーツによる交流の推進

1 広域的なスポーツ交流活動の充実

場

IV スポーツに親しむ場の整備

1 スポーツ施設の整備・運営

2 身近なスポーツ環境の整備

単位施策

〈施策の推進イメージ図〉

スポーツに関わる人を増やし、
健康で活力あるまちづくりに貢献する



4 成果指標

計画目標の達成度合いを測るための物差しとして、4つの基本施策において、計画期間となる令和10年度(2028年度)の目標値を設定します。

なお、現状値については、令和2年度(2020年度)は新型コロナウイルス感染症の影響があることから、令和元年度(2019年度)の数値とします。

基本施策Ⅰ「スポーツライフの推進」

成果指標	現状値	目標値
	令和元年度(2019年度)	令和10年度(2028年度)
スポーツを実践している人の割合	51.4%	58.0%

基本施策Ⅱ「アスリート活動の推進」

成果指標	現状値	目標値
	令和元年度(2019年度)	令和10年度(2028年度)
全国大会等出場件数	205件	230件

基本施策Ⅲ「スポーツによる交流の推進」

成果指標	現状値	目標値
	令和元年度(2019年度)	令和10年度(2028年度)
市外からのスポーツイベント参加者数	2,169人	3,300人

基本施策Ⅳ「スポーツに親しむ場の整備」

成果指標	現状値	目標値
	令和元年度(2019年度)	令和10年度(2028年度)
スポーツをしやすい環境が整っていると思う人の割合	65.3%	72.0%

5 本計画で目標とするSDGsの達成目標

持続可能な開発目標（SDGs）とは、平成27年(2015年)9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、令和12年(2030年)までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標です。



本計画においても、スポーツの持つ人々を集める力や人々を巻き込む力を使ってSDGsを達成し、社会におけるスポーツの価値の更なる向上を目指します。



【目標3】すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する。

⇒スポーツ活動を通して、健康的で生きがいのある生活の確保を目指します。



【目標4】質の高い教育をみんなに

すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。

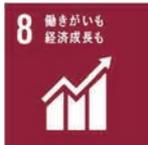
⇒スポーツ活動を通して、参加者の生涯学習の機会を提供します。



【目標5】ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る。

⇒スポーツ推進委員会の活動やスポーツイベントを通して、女性の社会進出やジェンダー平等の実現に向けての取組を進めます。



【目標 8】働きがいも経済成長も

すべての人のための持続的、包括的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用及びディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する。

⇒ふるさと大使等のスポーツ活動を通して、市民の働きがいや活力あるまちづくりを進めます。



【目標 10】人や国の不平等をなくそう

国内及び国家間の格差を是正する。

⇒スポーツ施設の利用やスポーツイベントへの参加を通して、国籍や人種に関わらず、すべての人が平等にスポーツできる機会を提供します。



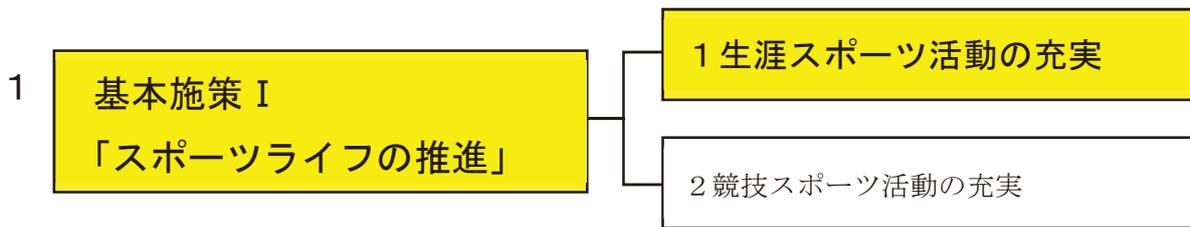
【目標 17】パートナーシップで目標を達成しよう

持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

⇒多様な主体の連携によるスポーツ活動を通して、健康で活力のあるまちづくりを推進します。



第4章 施策の展開



(1) 参加しやすいスポーツ機会の充実

- ア スポーツ活動の有無や、障がいの有無等に関わらず、誰もが気軽にスポーツを始めるきっかけとなるようなウォーキングイベントやニュースポーツ体験会等のイベントを開催します。
- イ コミュニティ等の地域の団体と連携し、身近なところで気軽に親しむことができる地域でのスポーツ教室やイベントを開催します。
- ウ 健康診断の結果と簡単なアンケートから個人に合った運動の強さ、ウォーキングペース等の分かる運動応援メニューを提供し、日ごろのスポーツ活動を支援します。
- エ スポーツの日に合わせて、新たにスポーツ体験会やイベントを開催したり、施設の無料開放等の実施を検討します。

<主な取組>

- ・ みんなでウォーキング事業
- ・ 市民ミニテニス大会
- ・ 地域スポーツ振興事業（コミュニティ運動会）
- ・ ふれあいスポーツ大会（障がい者スポーツ大会）
- ・ シニア健康フェスティバル
- ・ 体力テスト&ニュースポーツ体験会
- ・ 市民ペタンク大会
- ・ 健康応援情報提供事業

<今後の取組（案）>

- ・ ゆるスポーツ体験会
- ・ スポーツの日に合わせてスポーツイベント開催等の検討

注記:<主な取組>及び<今後の取組(案)>に記載している事業は、スポーツ振興を主目的とした事業を中心に記載しています。

(2) 子どもたちのスポーツ機会の充実

ア 幼少期からのスポーツ機会を充実するため、スポーツクラブ東海やスポーツ少年団の活動を支援します。

イ 小学校における課外活動（部活動）の廃止や中学校における運動部活動の種目数の縮小等に対し、地域や各種団体との連携を進め、子ども教室やジュニアクラブの活動を充実し、子どもたちの体力向上とスポーツ振興に取り組みます。

<主な取組>

- ・ 総合型地域スポーツクラブ補助事業
- ・ スポーツ少年団の活動支援

<今後の取組（案）>

- ・ 子ども教室でのスポーツ教室
- ・ ジュニアクラブ活動の充実

(3) 働く世代のスポーツ機会の充実

ア 親子で楽しめるスポーツイベントの開催やポイント制度を活用して、楽しく参加しやすい環境を整備します。

イ 場所や時間を選ばずにスポーツを実践できるよう、オンラインによるスポーツ事業の開催を検討します。

<主な取組>

- ・ 体力テスト&ニュースポーツ体験会
- ・ とうかい健康チャレンジ（マイレージ）事業

<今後の取組（案）>

- ・ オンラインによるスポーツ事業

(4) スポーツ関係団体との連携

ア スポーツクラブ東海の各種市民大会やスクールの開催について、広報等によるPRを行い、活動を支援します。

イ スポーツ推進委員会が積極的に地域に関わり、市民の自主的・継続的なスポーツ活動を推進します。

ウ 市民、行政、各種団体等が課題や目標、役割等を共有し、本市のスポーツ振興を一体となって進めていくための体制を整備します。

エ 市民の幅広いスポーツ活動を支援するため、地域で活動するスポーツ団体や健康づくり団体、障がい者団体等との連携方法を検討します。

<主な取組>

- ・ 総合型地域スポーツクラブ補助事業
- ・ スポーツ推進委員会設置事業

<今後の取組（案）>

- ・ スポーツ推進会議の設置
- ・ 多様な団体との新たな事業連携の検討



ウォーキング東海



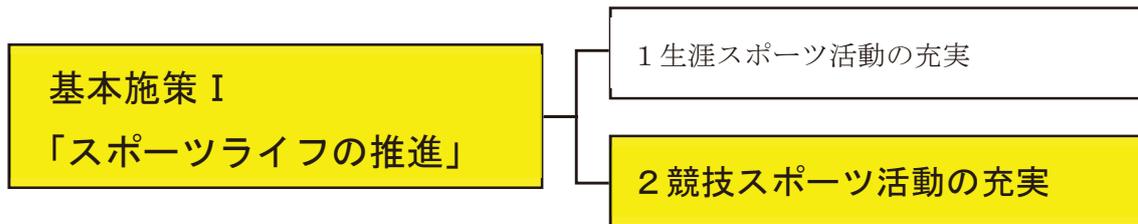
体力テスト&ニュースポーツ体験会



市民ミニテニス大会



小学校でのボッチャ授業



(1) 競技活動のできる環境の確保

ア スポーツクラブ東海と連携し、ジュニアクラブ活動や各種市民大会を開催するなど、子どもから大人まで競技活動に取り組める環境を整備します。

イ スポーツ少年団や地域で活動するスポーツ団体の情報を提供し、スポーツを実践したい人とのマッチングを行うことで活動を支援します。

<主な取組>

- ・ 東海市ジュニアスポーツフェスティバル
- ・ ジュニアクラブ活動
- ・ 各種市民大会

<今後の取組（案）>

- ・ スポーツ団体の情報提供による活動のマッチング

(2) スポーツ指導者の育成及び派遣制度の確立

ア スポーツ指導者に対し、スポーツ施策やハラスメント防止等の研修を行うとともに、指導者間の情報交換の場を提供します。

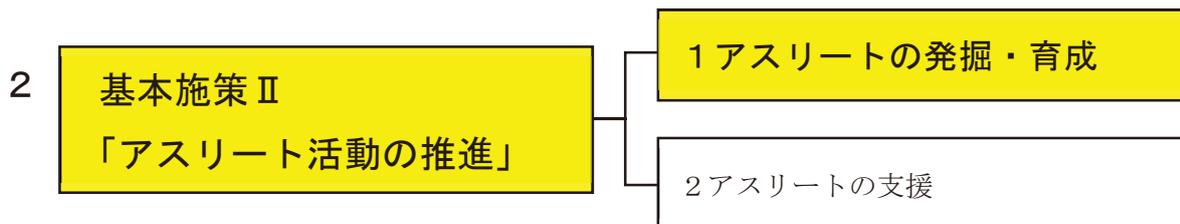
イ スポーツクラブ東海や大学、企業等と連携し、スポーツ指導者やボランティアの確保及び派遣体制を整備します。

<主な取組>

- ・ スポーツ指導者認定制度

<今後の取組（案）>

- ・ 指導者育成研修会
- ・ スポーツ指導者バンク制度



(1) 企業スポーツチーム等との連携

ア 企業スポーツチームやトップアスリートと連携し、試合観戦や教室を開催します。

また、地域スポーツ活動や学校体育授業等への事業連携についても検討します。

<主な取組>

- ・ ジュニア世代スポーツ力育成事業

<今後の取組（案）>

- ・ ふるさと大使等スポーツ連携交流事業
- ・ 企業スポーツチーム等との地域スポーツ活動の連携

(2) 目標となる大会等の開催

ア 全国屈指の選手が集まるインドアソフトテニス大会や山崎武司杯（少年野球大会）など、日頃の練習意欲を高める魅力ある大会を開催します。

イ 愛知県市町村対抗駅伝競走大会等への参加を通して、アスリートを目指す子どもたちを発掘・育成します。

<主な取組>

- ・ インドアソフトテニス大会、山崎武司杯（少年野球大会）
- ・ 愛知県市町村対抗駅伝競走大会派遣事業

(3) 一貫した活動体制の整備

ア 東海市ハンドボール協会と大同特殊鋼ハンドボール部が連携して運営している東海ハンドボールスクールのように、小学生から高校生まで同じ環境下において一貫して指導が受けられるよう、企業スポーツチームとの連携を進め、スクールの充実やユースチームの発足等を働きかけます。

<主な取組>

- ・ 東海ハンドボールスクールの活動支援

<今後の取組（案）>

- ・ 一貫した活動体制の整備の検討



愛知県市町村対抗駅伝競走大会



日本製鉄東海R E X野球教室



大同特殊鋼ハンドボール部フェニックス

ハンドボール教室

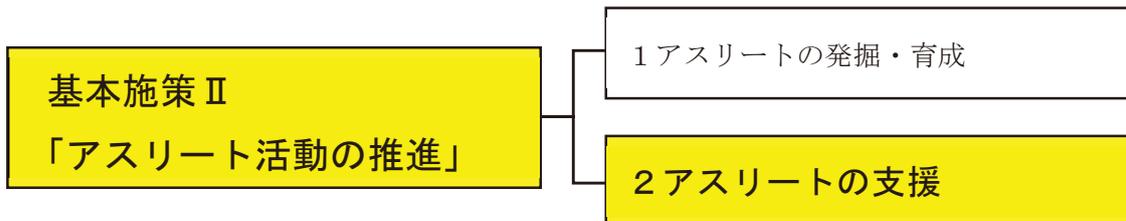


市民駅伝大会

愛知製鋼陸上競技部陸上教室



東レアローズバレーボール教室



(1) アスリート活動の支援

ア 全国大会や世界大会等に出場する本市に在住・在勤・在学の個人や団体に対し、激励会を開催します。

また、アスリートの優れた成績や活動に対し、スポーツ功労者として表彰を行います。

イ スポーツに関するふるさと大使やアスリート等の活躍を市民に周知するとともに、壮行会やパブリックビューイング、市民応援ツアー等に取り組み、市を挙げて応援します。

<主な取組>

- ・ 全国大会等出場者激励事業
- ・ スポーツ功労者表彰
- ・ ふるさと大使応援等のアスリート応援事業



丸尾選手、山西選手壮行会



木原選手激励会

3

基本施策Ⅲ

「スポーツによる交流の推進」

1 広域的なスポーツ交流活動の充実

(1) 大規模スポーツイベントの開催

ア 令和元年度(2019年度)から始まったハーフマラソンを定着させ、充実していくため、県内外からのランナーを増やすとともに、地域での受入態勢を整備します。

イ 大規模なスポーツ大会や民間と連携した広域的なイベントが開催されるよう働きかけます。

<主な取組>

- ・ ハーフマラソン開催補助事業

<今後の取組(案)>

- ・ 大規模スポーツ大会やイベントの誘致

(2) 姉妹都市等とのスポーツ交流の推進

ア まちのにぎわいづくりにつなげるため、国内及び国外姉妹都市とのスポーツによる交流を進めます。

イ 新たなスポーツ交流を推進するため、アジア競技大会のような国際大会等における選手団の受入れによる市民交流を進めます。

<主な取組>

- ・ 姉妹都市スポーツ交流事業(国内・国外)

<今後の取組(案)>

- ・ 国際大会等における選手団の受入れ

(3) トップチーム等の試合や合宿の誘致

ア まちのにぎわいづくりに向け、企業スポーツチームやトップアスリートの試合や合宿を誘致します。

なお、合宿誘致に当たっては、市内ホテル等の民間施設と連携します。

<主な取組>

- ・ トップチームの試合開催（日本ハンドボールリーグ）

<今後の取組（案）>

- ・ 新たなトップチームの試合や合宿の誘致



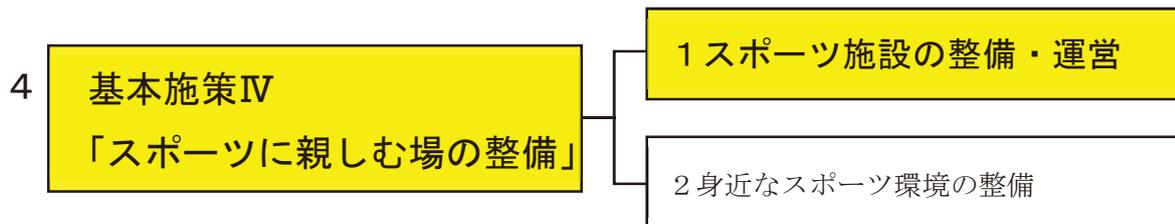
東海市ハーフマラソン



姉妹都市スポーツ交流



日本ハンドボールリーグ



(1) スポーツ施設の在り方の検討

ア 元浜スポーツ広場について、サッカー場の安全性や利便性の向上及び利用者の少ないパターゴルフ場の在り方を含め、施設全体でリニューアルを検討します。

イ スポーツ施設の老朽化や利用状況の飽和状態を解消するため、また、時代に即したスポーツ振興に向け、統廃合や新施設の整備等、今後の施設の在り方について検討します。

なお、整備手法については、PPP（官民連携）の考え方を取り入れて検討します。

<今後の取組（案）>

- ・ 元浜スポーツ広場の在り方検討
- ・ スポーツ施設の在り方検討

(2) スポーツ施設の整備

ア 利用者の利便性の向上を図るとともに、安全で安心して施設を利用できるよう、本市の長寿命化計画に基づき計画的に改修を行います。

イ 今後の施設整備や改修の際には、年齢や障がいの有無等に関わらず、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインの考え方を取り入れます。

<主な取組>

- ・ 長寿命化計画に基づく計画的改修

<今後の取組（案）>

- ・ ユニバーサルデザインの考えに即した施設の整備・改修

(3) スポーツ施設の管理運営

ア 利用者の利便性を高めるため、スポーツ施設の予約や支払において、キャッシュレス決済等のデジタル化を推進します。

イ 利用者の満足度を高めるため、利用者ニーズの把握に努めるとともに、民間等のノウハウ（指定管理者からの提案）を積極的に活用していきます。

<主な取組>

- ・ 市民体育館管理運営
- ・ 屋外運動施設管理運営
- ・ 温水プール管理運営
- ・ 指定管理者制度(民間ノウハウ)の活用

<今後の取組(案)>

- ・ 施設運営におけるデジタル化の推進



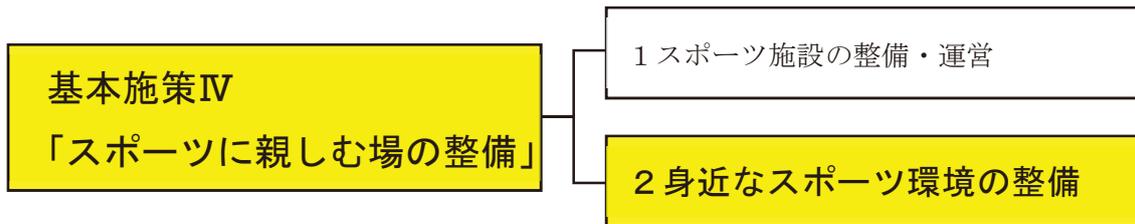
市民体育館



元浜サッカー場



市営温水プール



(1) 公園や緑道等の整備・活用

ア 身近なところでウォーキングに取り組めるよう、公園や緑道の園路や道路等の歩道を整備し、ウォーキングコースとして活用します。

イ 公園を訪れた人たちが気軽にスポーツを行えるよう、都市公園に貸出用のスポーツ用具を配備します。

<主な取組>

- ・ ウォーキングイベントの開催
- ・ 安全で魅力ある歩行空間の整備
- ・ 地域・生涯スポーツ推進活動事業

<今後の取組（案）>

- ・ ウォーキングコースの整備
- ・ 都市公園へのスポーツ用具の配備

(2) 学校体育施設の活用

ア 地域でのスポーツ活動を推進するため、小中学校の運動場や体育館等の学校体育施設を積極的に地域へ開放していきます。

イ 小学校における課外活動（部活動）の廃止に伴い、子どもたちのスポーツ機会の確保につながる開放時間の利用方法について検討します。

<主な取組>

- ・ 学校体育施設のスポーツ開放
- ・ 地域・生涯スポーツ推進活動事業

<今後の取組（案）>

- ・ 学校体育施設の地域開放の検討

(3) 大学や企業、民間スポーツ施設との連携

ア 市民のスポーツの場を拡充するため、民間スポーツ施設との連携を進めるとともに、大学や企業が所有するスポーツ施設の地域開放に向けた連携を検討します。

<主な取組>

- ・ 健康応援ステーション事業

<今後の取組（案）>

- ・ 大学や企業スポーツ施設等の地域開放の検討



大池公園



愛知製鋼企業年金基金体育館 アスカム

(健康応援ステーション)

5 重点プロジェクト

第4章では、4つの基本施策ごとに事業を列記してきましたが、これらの基本施策を連携させ、事業の質を上げていくため、また、各種団体が一体となって推進していくためのシンボル事業として、次の3つを重点プロジェクトとして設定します。

1 『都市公園スポーツ交流拠点 プロジェクト』

市内各所にある身近な都市公園を活用し、日常的にウォーキングや体操等の健康づくり、ランニング等の体力づくりに取り組んでいる状態を目指します。

また、誰もが気軽に参加できるスポーツイベントを開催するなど、普段運動をしていない人も集いやすいスポーツ交流の拠点を目指します。

まずは、市の中央にある大池公園での取組を進め、他の都市公園への展開を図ります。[イメージ：皇居ランニング]

< 役割分担に基づく取組例 >

行政：園路の改修、距離表示等の整備

スポーツ団体：イベントの開催、教室の開催

大学・企業スポーツ：練習会場、イベントの開催、教室の開催

コミュニティ：イベントの開催、ウォーキングの促進

民間事業所：シャワー・更衣室等の整備、飲食の提供 など



2 『学校のスポーツふれあい広場 プロジェクト』

子どもの運動機会を確保するため、身近な小学校の運動場や体育館において、親子・友人がボール投げやバドミントンなど、体を動かす遊びや運動に取り組んでいる状態を目指し、スポーツ用品・設備の整備や教室等を開催します。

< 役割分担に基づく取組例 >

行政：スポーツ用品やスポーツ設備の整備

学校：施設の提供

スポーツ団体：イベントの開催、教室の開催

コミュニティ：見守り活動、活動のサポート など

3 『スポーツ指導者バンク プロジェクト』

スポーツに関する指導者を探している団体と指導者をつなぎ、スポーツ活動が継続的に行われている状態を目指します。

地域や学校、職場、各種スポーツ教室等の場面において、体力や年齢、技術レベルに応じて指導することができる人やスポーツイベントにボランティアとして関わりたい人を登録し、派遣できる体制を整備します。

< 役割分担に基づく取組例 >

行政：制度設計、関係団体との体制づくり

スポーツクラブ東海：制度設計、管理運営

学校：部活動等での活用、指導者の登録

スポーツ団体：教室やイベントでの活用、指導者の登録

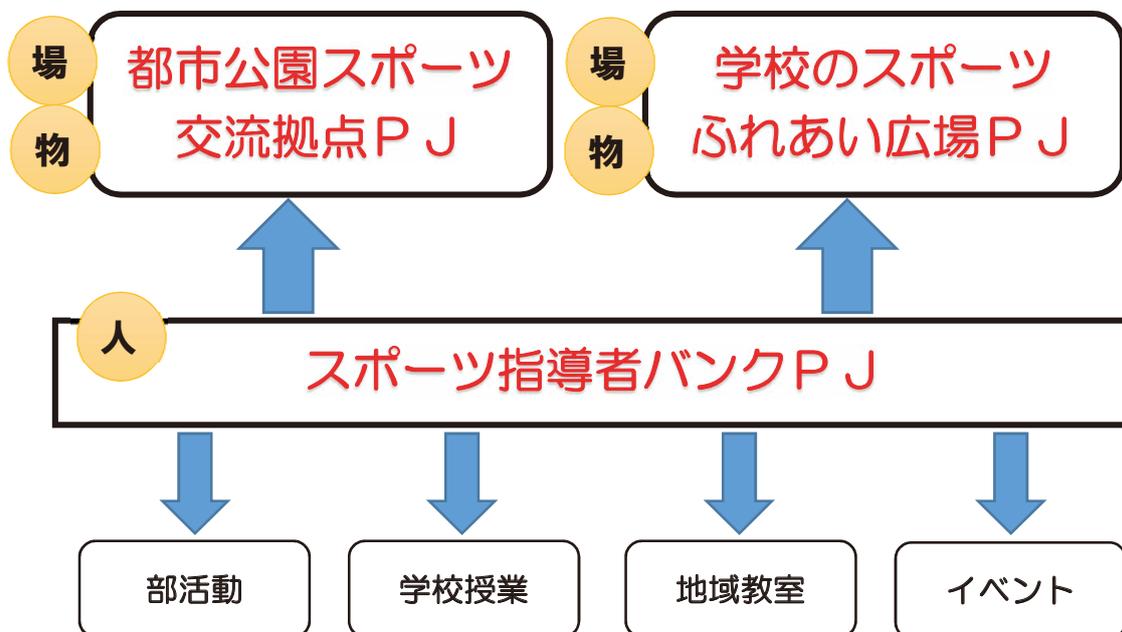
大学・企業スポーツ：指導者・ボランティアの登録

コミュニティ：イベントでの活用、ボランティアの登録 など

[プロジェクト推進イメージ]

スポーツ振興のために必要な資源（人材・設備・場所）を、3つのプロジェクトで有機的に連携していきます。

◆プロジェクト事業への派遣による事業推進



◆個別事業への派遣による充実



6 推進スケジュール

各取組の推進に当たり、1、2年以内に取り組む「短期」、3、4年以内に取り組む「中期」、5～7年以内に取り組む「長期」として、取り組む時期の目安を示します。

基本施策Ⅰ「スポーツライフの推進」

単位施策	取組名	短期	中期	長期
1 生涯スポーツ活動の充実	(1)参加しやすいスポーツ機会の充実	→	→	→
	(2)子どもたちのスポーツ機会の充実	→	→	→
	(3)働く世代のスポーツ機会の充実	→	→	→
	(4)スポーツ関係団体との連携	→	→	→
2 競技スポーツ活動の充実	(1)競技活動のできる環境の確保	→	→	→
	(2)スポーツ指導者の育成及び派遣制度の確立	→	→	→

基本施策Ⅱ「アスリート活動の推進」

単位施策	取組名	短期	中期	長期
1 アスリートの発掘・育成	(1)企業スポーツチーム等との連携	→	→	→
	(2)目標となる大会等の開催	→	→	→
	(3)一貫した活動体制の整備	→	→	→
2 アスリートの支援	(1)アスリート活動の支援	→	→	→

基本施策Ⅲ「スポーツによる交流の推進」

単位施策	取組名	短期	中期	長期
1 広域的なスポーツ 交流活動の充実	(1)大規模スポーツイベントの開催	→		
	(2)姉妹都市等とのスポーツ交流の 推進	→		
	(3)トップチーム等の試合や合宿の 誘致	⇨	→	

基本施策Ⅳ「スポーツに親しむ場の整備」

単位施策	取組名	短期	中期	長期
1 スポーツ施設の 整備・運営	(1)スポーツ施設の在り方の検討	⇨		
	(2)スポーツ施設の整備	→		
	(3)スポーツ施設の管理運営	→		
2 身近なスポーツ 環境の整備	(1)公園や緑道等の整備・活用	→		
	(2)学校体育施設の活用	⇨	→	
	(3)大学や企業、民間スポーツ施設との 連携	⇨	→	

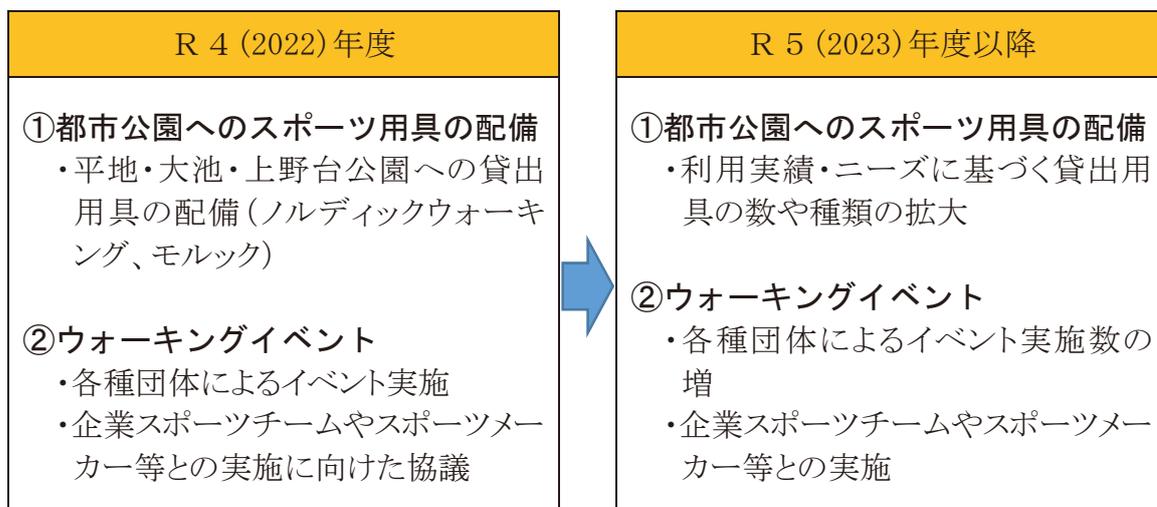
⇨ 準備・検討

→ 実施

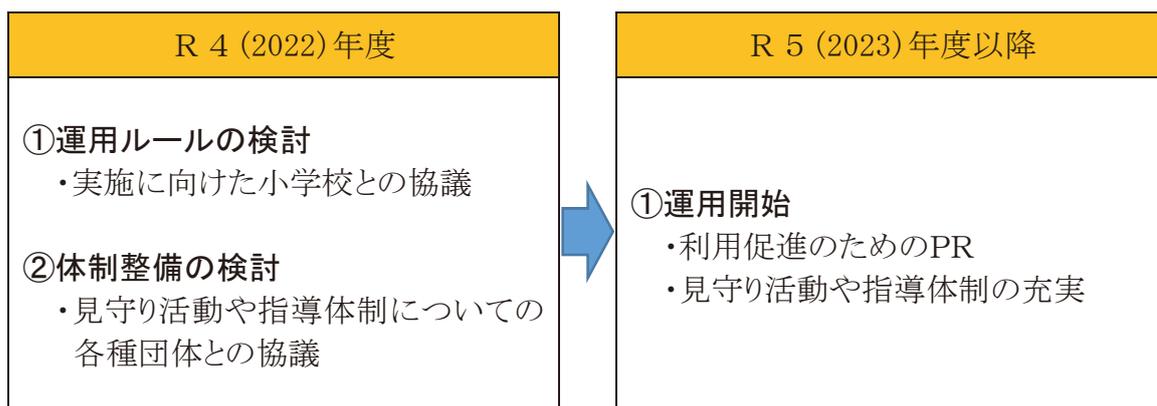
● とりまとめ

[重点プロジェクトのスケジュール]

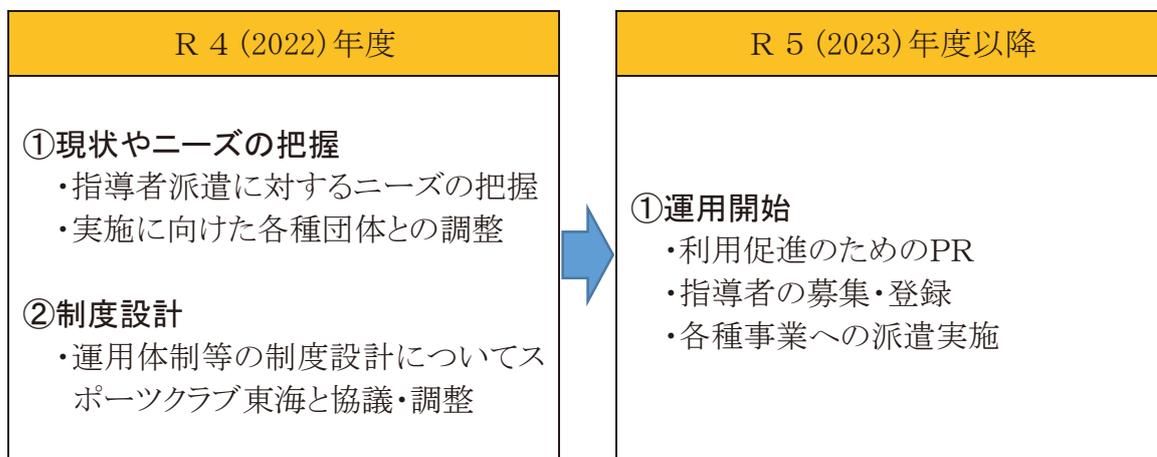
1 都市公園スポーツ交流拠点プロジェクト



2 学校のスポーツふれあい広場プロジェクト



3 スポーツ指導者バンクプロジェクト



第5章 計画の実現に向けて

1 各種団体に期待する役割

本計画の目標を実現するためには、行政のみでなく各種団体それぞれが役割を担い、進行していくことが重要となります。

そこで、本市のまちづくりの考えを示した「まちづくり基本条例」の基本理念である「協働・共創」に基づき、各種団体に期待する役割を次に示します。

関係者・団体	期待する役割
市民	一人ひとりがスポーツに興味・関心を持ち、「する」「みる」「ささえる」それぞれの場面から、自分に合ったスポーツ活動を積極的に実践します。
小中学校	子どもたちが生涯にわたってスポーツに親しむ基礎づくりやスポーツを通じた健全育成を図ります。 また、学校体育施設の地域開放により、身近なスポーツ活動の場を提供します。
大学	大学が保有している人材や施設、情報等のスポーツ資源を可能な限り提供し、地域と連携しながら市民のスポーツ活動を活発にします。
企業	企業スポーツチームの選手によるスポーツ教室の開催や試合観戦を通し、ジュニア世代の競技力向上や市民の一体感を醸成します。
スポーツクラブ東海 (総合型地域スポーツクラブ)	気軽に参加できるイベントの開催を始め、競技力向上のためのスクールや大会の開催、アスリートの発掘や育成に向けた事業展開など、市民がスポーツに親しむ環境づくりを推進します。
スポーツ推進委員会	地域のスポーツ振興を図るため、スポーツに関する指導や助言等を行うコーディネーターとしての役割を担い、市民の自主的なスポーツ活動を支えます。
関係団体等	団体の特徴を生かし、他のスポーツ団体と連携しながら構成員のスポーツ振興を図ります。
行政	市民及び各種団体に対する総合的な窓口を担い、コーディネーターとしての機能を果たします。 また、市全体のスポーツに関する状況を把握するとともに、本計画の進行管理を行います。

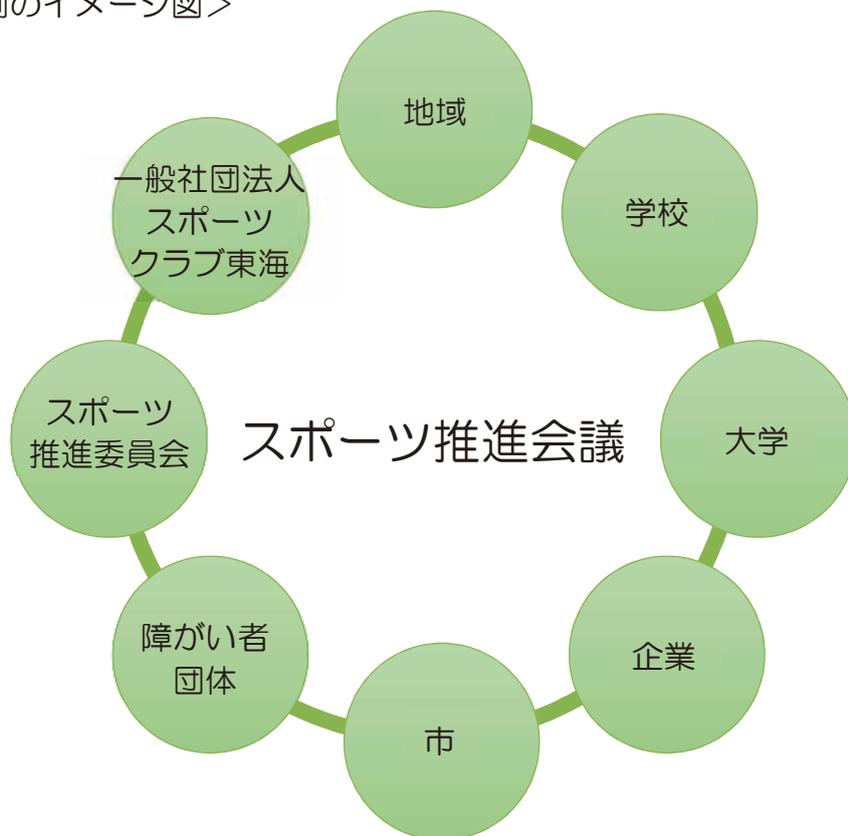
2 計画の進行管理及び推進体制

本計画の推進に当たっては、計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Action）を繰り返すことによる「PDCAサイクル」により、事業の継続的な改善を図ります。

そのため、スポーツ振興に関わる団体等で構成する「東海市スポーツ推進会議」を設置し、施策の進捗状況や各種団体の事業の実施状況を確認するとともに、改善に向けた話し合いを定期的に行います。

また、市と市民や団体・地域等が同じ認識を持ち、本計画を推進できるよう、東海市スポーツ推進会議を通して情報を積極的に提供していきます。

＜推進体制のイメージ図＞



参考資料

1 東海市ふるさと大使（スポーツ関係）

全国で活躍されている本市にゆかりのある方々をふるさと大使に任命し、本市の魅力を情報発信していただいています。

市民と大使がお互いに応援し合い、お互いに夢を持ち、高め合っていく双方向の関係を築いていきます。



山崎武司さん(野球)



ドラゴン・キッドさん(プロレス)



近藤共弘さん(ゴルフ)



日本製鉄東海R E X
(社会人野球広域複合企業チーム)



大同特殊鋼ハンドボール部
フェニックス
(実業団ハンドボールチーム)



愛知製鋼陸上競技部
(実業団陸上競技チーム)

2 オリンピック出場者



木原龍一さん(フィギュアペア)
東海市ふるさと大使

【出場歴】

- 2014年 ソチ大会
5位入賞(団体戦)
- 2018年 平昌大会
5位入賞(団体戦)
- 2022年 北京2022大会
銅メダル獲得(団体戦)
7位入賞(個人戦)



山西利和さん(20km競歩)
愛知製鋼陸上競技部

【出場歴】

- 2021年 東京2020大会
銅メダル獲得(東海市初)



丸尾知司さん(50km競歩)
愛知製鋼陸上競技部

【出場歴】

- 2021年 東京2020大会

3 主な公共スポーツ施設一覧

施設名		設置年度	施設概要
平地公園	野球場	S59 (1984)	1面、夜間照明施設
	テニスコート	S59 (1984)	2面（ハード）
しあわせ村	温浴室	H9 (1997)	スポーツプール（21m、水深85cm） 子供、幼児プール（丸形 水深55cm、30cm）
	トレーニング室	H9 (1997)	面積：221㎡
荒尾スポーツ広場 グラウンド・ゴルフ場		H26 (2014)	16ホール
大池公園	野球場	S53 (1978)	1面、夜間照明施設
	テニスコート	S55 (1980)	2面（砂入り人工芝）
温水プール		S56 (1981)	7コース、50m Aコース（3コース、50m、水深1.2m～1.4m） Bコース（4コース、34m、水深1.2m～1.4m） Cコース（4コース、16m、水深0.6m）
上野台公園 テニスコート		S56 (1981)	1面（砂入り人工芝）
市民体育館		S63 (1988)	メインアリーナ（バスケットボール、バレーボール、 テニス各3面、ハンドボール1面、バドミントン12 面、卓球24面） サブアリーナ（バスケットボール、バレーボール、 テニス各1面、バドミントン4面、卓球9面） 剣道場（3面）、柔道場（2面） 弓道場（6人立）、トレーニング室（256.25㎡）
勤労センター トレーニングスタジオ		H29 (2017)	面積：106.27㎡、定員：25名
元浜スポーツ広場	テニスコート	H4 (1992)	2面（砂入り人工芝）
	サッカー場	H4 (1992)	1面（少年用コート2面）（人工芝）、夜間照明施設
	パターゴルフ場	H4 (1992)	9ホール
	ゲートボール場	H4 (1992)	2面
運動加木屋公園	野球場	S52 (1977)	1面、夜間照明施設
	テニスコート	S52 (1977)	10面（砂入り人工芝）、夜間照明施設5面

【公共スポーツ施設マップ】

令和4年3月時点



★=健康応援ステーション(運動ステーション)
 しあわせ村トレーニング室、アスカム、市営温水プール、東海市民体育館、医療法人まつしまクリニック、東海メディカルフィットネススポーツセンター

ウォーキングペース体感ゾーン設置箇所
 平地公園、聚楽園公園、加家緑道、加家公園、大池公園
 上野台公園、元浜公園、公家緑道、大堀緑道、加木屋南公園

4 成果指標の算出方法

成果指標	算出方法	現状値	目標値
		令和元年度 (2019年度)	令和10年度 (2028年度)
基本施策Ⅰ「スポーツライフの推進」			
スポーツを実践している人の割合	<p>第6次総合計画「市民生活の現状について」のアンケート「スポーツ(ウォーキング・軽運動を含む)を実践している」で「はい」と回答した人の数／アンケート回答総数×100</p> <p>目標値は、第6次総合計画の最終年度(令和5年度(2023年度))のめざそう値とした。 [まちづくり指標 23]</p>	51.4%	58.0%
基本施策Ⅱ「アスリート活動の推進」			
全国大会等出場件数	<p>1年間に行われたスポーツの全国大会出場以上の激励件数(学校教育関係含む)</p> <p>目標値は、令和2年度(2020年度)を除いた過去5年間における年度間の増減数の平均値2件×7年(本計画年数)×1.5倍により算出した。 [成果指標 15-2-1]</p>	205件	230件
基本施策Ⅲ「スポーツによる交流の推進」			
市外からのスポーツイベント参加者数	<p>東海市ハーフマラソンの種目「ハーフマラソン」の市外参加者数</p> <p>目標値は、現状値2,169人×1.5倍により算出した。</p>	2,169人	3,300人
基本施策Ⅳ「スポーツに親しむ場の整備」			
スポーツをしやすい環境が整っていると 思う人の割合	<p>第6次総合計画「市民生活の現状について」のアンケート「スポーツをしやすい環境が整っている」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数／アンケート回答総数×100</p> <p>目標値は、令和2年度(2020年度)を除いた過去8年間における年度間の増減値の平均値0.64%×7年(本計画年数)×1.5倍により算出した。 [成果指標 15-1-2]</p>	65.3%	72.0%

5 策定委員会

(1) 東海市スポーツ推進計画策定委員会設置要綱

(設置等)

第1条 東海市スポーツ推進計画の策定に当たり、必要な意見聴取等を行うため、東海市スポーツ推進計画策定委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会は、市のスポーツの現状、課題等を分析し、スポーツ推進計画の策定に向けた協議、検討その他必要な業務を行う。

(組織)

第2条 委員会の委員は、10人以内をもって組織する。

2 委員会の委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) スポーツ団体を代表する者
- (2) 地域団体を代表する者
- (3) 学識経験を有する者
- (4) 障害者団体を代表する者
- (5) 企業関係者
- (6) 学校関係者
- (7) スポーツ推進委員会を代表する者
- (8) 市の職員

(委員の任期)

第3条 委員の任期は、令和4年3月31日までとする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長1人を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集し、議長を務める。

2 委員長は、必要があると認めるときは、関係者を会議に出席させ、その意見又は説明を聞くことができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、教育委員会スポーツ課において処理する。

(雑則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和3年7月6日から施行する。

(2) 東海市スポーツ推進計画策定委員会名簿

【委員】

所属・役職	氏名	備考
日本福祉大学 スポーツ科学部 教授	吉田文久	委員長
星城大学 経営学部 スポーツマネジメントコース 講師	長澤省吾	副委員長
一般社団法人スポーツクラブ東海 常務理事	小島利和	
一般社団法人スポーツクラブ東海 スポーツ少年団 本部長	久野耕佐	
東海市コミュニティ推進地区連絡協議会 会長	富田憲治	
東海市身体障害者福祉協議会 会長	森山慶郷	
愛知製鋼株式会社 企画創生本部 社長室 室長	近藤達也	
東海市中小学校体育連盟 代表校長	伊藤雅登	
東海市スポーツ推進委員会 委員長	小野偉稔	
東海市教育委員会 教育部長	濱田眞理子	

【事務局】

所属・役職	氏名
教育委員会 次長兼スポーツ課長	鈴木俊毅
スポーツ課 主幹	天木大祐
スポーツ課 統括主任	土田将康
スポーツ課 主任	本多佑鷹
スポーツ課 主事	野村考史
スポーツ課 主事	千葉廣



東海市スポーツ推進計画

令和4年（2022年）3月発行

発行：東海市・東海市教育委員会

編集：東海市教育委員会 スポーツ課

〒476-8601 愛知県東海市中央町一丁目1番地

TEL 052-603-2211、0562-33-1111

FAX 052-604-9290

E-mail sports@city.tokai.lg.jp